



みんな楽しく みんなでもチャレンジ みんな笑顔の

みんなまの子

南有馬小学校だより No.14

令和8年7月17日(金)

南島原市立南有馬小学校

校長 大草 修三

さあ、夏休みだ！



本日、1学期の終業式を行いました。1学期は、1年生が66日間、2年生が68日間、3年生から6年生までが69日間授業日がありました(2年生は学年閉鎖があったため1日少ないです)。子どもたちは、毎日の学校生活の中で多くのことを学んだり、いろんな友達と関わったりしながら成長してきました。今日、担任から子どもさんへ手渡した通知表「あゆみ」には、この1学期のそれぞれの子どもさんの頑張りや学びの成果、課題を記しています。是非親子で目を通して、一緒に1学期を振り返ってください。

さて、いよいよ明日から子どもたちが待ちに待った夏休みが始まります。夏休みは7月21日から始まるので42日間なのですが、今年は7月18日、19日が土日で、20日が海の日でお休みですので、3日間多い45日間の休みとなります。

長い夏休みをどのように過ごすかは、2学期の学校生活に大きく影響してきます。規則正しい生活を送り、生活のリズムを崩さないようご家庭でも配慮いただきますようお願いいたします。

子どもたちにとって、思い出に残る有意義な夏休みになることを願っています。



終業式の言葉 ～大体こんなことを話しました～

4月8日にスタートした1学期も、今日で終わりです。122名全員が無事に今日の日を迎えることができたことを喜びたいと思います。(中略)

明日からはみなさんが楽しみにしている夏休みです。(中略)夏休みには、普段の学校ではなかなかできないことがたくさんできます。(中略)

みなさんは、この昆虫を見たことがありますか。「タマムシ」といいます。先生は子どもの頃、南有馬中学校近くの八幡神社でこのタマムシを見つけました。なんてきれいな虫なんだろうと思いました。そして、捕まえて家に持って帰り、図鑑で調べてみるとタマムシという名前の昆虫だということがわかりました。図鑑にはタマムシがケヤキという木の葉を食べることや飼うのは難しいことなどが書いてありました。先生はどうしても飼いたくて、虫かごに木の葉を入れて飼ってみたのですが、次の日には死んでしまいました。悲しかったのですが、このきれいなタマムシを何とか残したいと思い、標本作りにチャレンジしました。上手にできたわけではないのですが、その夏の大切な思い出になりました。

夏休みはたくさん時間があります。先生は昆虫が好きで、タマムシに夢中になりましたが、皆さんもそれぞれ大好きなことや得意なことがあると思います。好きなこと、得意なことにとことんのめり込んでみてください。反対に苦手なことや今までやったことがないことにチャレンジするのもいいと思います。(中略)

さあ、夏休みを思いっきり楽しんでください。夏休みにはしかできないことにチャレンジしてください。そして、みんな楽しく、なんでもチャレンジして、まんまる笑顔の、みんなまの子の夏休みにしましょう。2学期の始業式の日、「校長先生、夏休み、最高に楽しかったよ」という報告を待っています。(後略)

夏休みの行事予定



7月

21日（火）～24日（金）

保護者面談

※ただし、3年生は担任の研修のため、7/21、22、28、29の4日間に実施します。

28日（火）～30日（木）

Leaders of Tomorrow
（南有馬体育館等）

29日（水）～31日（金）

市教委主催水泳教室
（南有馬プール）

8月



9日（日） 登校日、平和集会

10日（月）～16日（日）

学校閉庁期間

21日（金） 登校日、書道教室

※植松春義（桂春）さんの協力を得て、地域の方に書道教室を開催していただきます。



「あゆみ」(通知表)の見方講座！

☆見方その1…最初に『出席日数』を見るべし！

最初に「出席日数」をご覧ください。この1学期間、1日も休まず学校に来たことほど素晴らしいことはありません。心も体も健康第一！「たかが無欠席、されど無欠席」です。

☆見方その2…次に『生活のようす』を見るべし！

1学期の学校生活の様子を項目別（㉦）

で見えています。十分満足できる場合に㉦、おおむね満足できる場合に○、努力してほしい場合に△を付けています。

㉦が一つも付いていなくても、△がついていても大丈夫。伸びしろが大きいということです。

※2学期と3学期は、担任の所見欄があります。生活の記録の前に、所見を読んでもください。各担任が、学校生活の中で子どもさんががんばったところ、課題となったところなどを記述します。特に、がんばったところ、よかったところを読んで、たくさんほめてあげてください。

☆見方その3…最後に『学習のようす』を見るべし！

「学習のようす」を軽視しているわけではありません。保護者の方の目が一番向きやすいのがこの「学習のようす」でしょう。ですから、あえて最後に見てほしいのです。「学習のようす」だけを見て「よくがんばった」とか「もう少しがんばらんか！」と言わないでください。全体を見て、その中で子どもさんががんばったところを見つけ、それを認め、ほめてあげてください。



【留意事項】

お金や物に換算するべからず！

「成績のよかったけん、ゲームば買ってやる！」などというのは、子どもさんが勉強の意義を勘違いするもととなります。絶対にやめてください。お父さん、お母さんの温かい言葉と笑顔こそが子どもさんのやる気と安心感につながるのです。

子どものころ、通知表をご家族の方に手渡すとき、なんと言ってほしかったですか？その言葉を子どもさんにかけてあげてください。